

日当たりの良い場所にあるツル性の草本がからまったミズナラのピーティングによって得たもの。

本種は、黒澤ら(1985)および吉富ら(2013)において、国内の分布域は本州、四国、九州および対馬とされ、北海道が分布域となっていなかったものである。なお、学名は Švec (2007) に従った。



図2. ベニモンアシナガヒメハナムシ.

### 3. モモキアリモドキ *Anthicomorphus cruralis* Lewis

1 ex., 北海道札幌市南区砥山観音沢, 8. IX. 2012. (図3).

林道脇の草本類のスイーピングにより得たもの。

本種も黒澤ら(1985)において、分布域は本州、四国、九州、対馬、屋久島および琉球とされ、北海道が分布域となっていなかった。



図3. モモキアリモドキ.

### 引用文献

- 黒澤良彦・久松定成・佐々治寛之(編), 1985. 原色日本甲虫図鑑 (III), 500pp. 保育社, 大阪.  
 平野幸彦, 2009. 日本産ヒラタムシ上科図説, 63 pp. 昆虫文献六本脚, 東京.  
 吉富博之・亀澤 洋, 2013. 日本産ヒメハナムシ科の暫定リスト. さやばねニューシリーズ, (9): 19-22.  
 Švec, Z., 2007. Phalacridae. 506-513 pp. In: Löbl, I. & A. Smetana (eds.), Catalogue of Palaearctic Coleoptera. Volume 4. Elateroidea-Derodontoidea-Bostrichoidea-Lymexyloidea-Cleroidae-Cucujoidea. Apollo Books, Stenstrup.

(柏崎 昭 001-0031 札幌市北区北31条西6丁目 2-10)

### 【短報】薩摩黒島からのトガリシロオビサビカミキリの記録

トガリシロオビサビカミキリ *Pterolophia* (*Pterolophia*) *caudata caudata* (Bates, 1873) は、北海道および奥尻島, 本州, 猿島, 伊豆諸島 (大島, 新島, 三宅島), 飛島, 佐渡, 冠島, 隠岐, 四国, 九州, 対馬, 奄岐, 筑前沖ノ島, 五島列島 (中通島, 平島, 福江島), 甌島列島 (下甌島), 種子島, そして韓国の鬱陵島に分布することが知られているが (大林・新里, 2007), 九州南部の島嶼において本種はなぜか種子島から記録されているだけで, 屋久島からすら記録がない。最近, 筆者らは2016年5月中旬に青木淳一博士が鹿児島県三島村黒島で採集したカミキリムシ類の標本 (3種5個体) を検する機会に恵まれた。その中に本種が入っていたので同島初記録として報告する。

1♂, 鹿児島県三島村黒島大里, 14.V.2016, 青木淳一採集 (農環研所蔵昆虫標本番号 24-0478720; 写真); 1♂, 同島檜岳遊歩道, 15.V.2016, 青木淳一採集 (同番号 24-0478721)。

本種はフジの枯れ蔓を特に好むので, 人為的に分布を拡げる可能性があるため, 今回の採集品が自然分布か人為的な分布域拡大によるものなのかは明らかではない。

末筆ながら, 貴重な標本をご恵与いただいた青木淳一博士に厚くお礼を申し上げる。なお, 標本は青木淳一コレクションとして農研機構・農業環境変動研究センターの昆虫標本館に保管される。

### 引用文献

- 大林延夫・新里達也編, 2007. 日本産カミキリムシ. 818 pp., 東海大出版会, 秦野市.

(楨原 寛 298-0002 いすみ市日在 2033-5)

(吉武 啓 305-8604 つくば市観音台 3-1-3

国立研究開発法人農研機構・農業環境変動研究センター)



図1. 黒島産トガリシロオビサビカミキリの♂成虫.